

大学院特別講義のご案内

日時：2021年3月30日（火） 17：30～19：00

場所：記念会館2階 多目的ホール ※先着50名

講師：遠藤 誠之 先生

（大阪大学大学院医学系研究科 保健学専攻 生命育成看護科学 教授

大阪大学医学部附属病院 胎児診断治療センター 副センター長）

演題：「胎児治療：その光と影」

要旨：

出生前診断技術の目覚ましい発展によって、出生前から詳細な胎児の評価ができるようになりました。それに伴って様々な疾患の成り立ちが、理解されるようになり、疾患の有無だけではなく、疾患の重症度やその予後評価などへも応用されています。

このように、生まれる前から胎児のもつ疾患への理解が深まることにより、出生直後からの治療方針を、出生する前から組み立てることができるようになりました。さらに出生後に有効な治療方法のなかった疾患に対しても、胎児期に治療する、「胎児治療」を行うことで、治療効果を得ることができるようになってきています。

その一方で、出生前診断によって胎児に疾患があることが判明したことで、「妊娠を継続するかどうか？」「胎児治療をするかどうか？」「出生後に児への愛着をもてるのかどうか？」など、新たな葛藤も生み出しています。

今回の講演では、そのような「出生前診断」「胎児治療」についていろいろな側面からお話させていただきますと思います。

※口の難病セミナーを兼ねます

問い合わせ先：口腔外科学第一教室（2936）